

Medical Group AISEIKAI

上飯田クリニック

上飯田クリニック

上飯田クリニック院長 加藤 優

1 上飯田クリニック概要

血液透析を専門とする透析専門クリニックです。

透析コンソール40台にて昼間コース（月水金、火木土）夜間コース（月水金）の3コースで行っております。

総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者様の健やかな暮らしを支え、守っております。

透析療法

腎臓の機能が10%以下になると、透析により腎臓の働きを代替えする必要があります。透析療法には、血液透析（HD）と腹膜透析（PD）があります。

血液透析（HD）

血液を人工臓器（ダイアライザー）に循環させて、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

腹膜透析（PD）

お腹に設置した管から透析液を注入し、お腹にある腹膜を透析膜として利用して、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

所在地 〒462-0802

名古屋市北区上飯田北町1-76

Tel 052-914-3387 Fax 052-911-4866

2 2010年活動実績

医療安全対策委員会（年12回）、院内感染委員会（年12回）、栄養委員会（年12回）、フットケア・チーム（年12回）の定期的な開催及び各種委員会・看護部主催の講習会等の開催。また、医療安全対策委員会による防災訓練（年2回）やヒヤリハットの分析・業務改善を行い、医療事故防止に取り組んでいます。

患者様の定期的なフットケアを行い下肢の潰瘍・壊死などの予防対策、管理栄養士により、食事の相談・指導・ポスター等による啓蒙活動などきめ細やかな対応を行っております。

院内感染対策委員会

委員長 加藤 優

1 特徴

院内感染対策委員会は、毎月定例で院内において発生した感染事例の報告、重要案件に対して委員会で予防・改善策を検討し、職員に周知徹底している。

その他、感染講習会を定期的及び随時行っています。

患者様には、感染症対策（個別、ポスター掲示による）の啓蒙活動。

2 2010年活動実績

院内感染対策委員会：毎月1回開催（年12回）

院内感染講習会：年2回開催

（講習会内容：院内感染対策について、ノロウイルス対策について）

MRSA 感染、ノロウイルス感染、B型・C型等肝炎マニュアル更新

新型・季節型インフルエンザ対策：マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の啓蒙活動、感染ベッドの確保、熱発時の対応マニュアル作成、透析室に空気清浄機の導入。

3 2011年目標

院内感染対策委員会：毎月1回開催（年12回）

院内感染講習会の定期開催：年2回開催

感染対策の啓蒙活動（患者様及び職員）

栄養委員会

委員長 山口 有紗

1 特徴

栄養委員会は、給食委託会社（日清医療食品株式会社）とともに患者食・職員食におけるサービス向上を目標に活動している。

個別・ポスター等による食事指導の啓蒙活動も合わせて実施している。

2 2010年活動実績

- ・ 栄養委員会：年12回（毎月1回開催）
 - 残飯量の報告
 - アンケート結果の報告
 - 異物混入報告
 - 厨房内の細菌検査検討・実施
 - 職員朝食の内容統一を検討
 - 感染症患者の対応を検討
- ・ 患者食・職員食の残飯計量および記録：毎食後
 - 残飯量の計量と食材の記録を行い、献立作成に反映
- ・ 職員食アンケート：年6回（奇数月に実施）
 - 平均回答率70%
 - 主食、主菜、副菜2種、汁物の項目について評価
 - 改善点…魚の臭みが気になる→臭みの強い種類を中止、
ミンチ肉の肉臭さ→香辛料を使用してカバー
 - リクエストメニュー提供…冷やし中華、ちらしずし、カツカレー、
チャーハン、アイスクリーム
- ・ ポスター掲示による栄養啓蒙活動
 - 外来用…カリウムについて、便秘解消法、年末年始の過ごし方、
飲み物の栄養量
 - 職員用…名古屋市バランスガイド、野菜を食べよう、きのこで健康

3 2011年目標

- 透析患者様への食事指導（個別・ポスター等による）の充実を図る
- 患者食・職員食の残飯率の減少
- 新メニューを導入し献立の充実を図る
- 厨房内の異物混入を減少（1件/月以内）

医療安全対策委員会

委員長 田尻 小枝子

1 特徴

医療安全対策委員会は、毎月定例で院内において発生した医療事故及びヒヤリハット・インシデントを統括報告し、重要案件に対して委員会で予防策や改善策を検討し、職員に周知徹底している。

その他医療安全講習会、防災訓練（地震・火災・災害）、透析装置等（新規導入コンソール・輸液ポンプ取り扱い訓練、AED 取り扱い講習、エアー誤入時の対策法など）の実施訓練を定期的及び随時行っています。

2 2010年活動実績

医療安全対策委員会 : 毎月 1 回開催（年12回）

医療安全講習会 : 年 2 回開催

講習会内容：医療事故について

: リスク管理について

防災訓練 : 年 2 回開催

訓練内容：初期消火・全館放送及び避難誘導訓練

: 消火器訓練・防災ビデオ（透析業務における震災時の対応）

透析装置等の実施訓練：年 4 回開催

誤針事故対策マニュアル更新、ヒヤリハット・インシデントの分析

3 2011年目標

医療安全講習会・防災訓練・透析装置等の実施訓練の定期開催

ヒヤリハット・インシデントの分析、医療安全の啓蒙活動

フットケア・チーム

1 特徴

腎不全になると閉塞生動脈硬化症を合併しやすくなります。

閉塞生動脈硬化症とは、血管が細くなったり、詰まったりして、手や足などの身体の隅々まで十分に血液が流れなくなる病気です。血流が悪くなると、手や足にできた小さな傷でも感染を起こし、潰瘍や化膿にまで進行すると治療が難しくなります。

特に、腎不全により免疫力が低下していると、感染症が悪化しやすく、手術が必要になる場合がありますので、日頃から足に触れて観察し、足の異常に早く気付くことが大切になりますので、定期的にフットケア・チーム委員会の開催、勉強会の開催、マニュアルの作成、啓蒙活動、情報の共有化をはかり早期対応が出来るようにしております。

2 2010年活動実績

フットケア・チーム委員会：毎月1回開催（年12回）

フットケア勉強会：年2回開催

フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動（ポスター等）

3 2011年目標

フットケア・チーム委員会：毎月1回開催（年12回）

フットケア勉強会：年2回開催

フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動（ポスター等）